



2019年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 東洋ドライループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4976 URL <https://www.drilube.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 飯野 光彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 城戸 幸一

TEL 03-3412-5711

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

2019年3月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	2,696	1.9	211	34.9	352	21.0	311	6.3
2018年6月期第2四半期	2,748	15.3	325	131.9	447	78.3	332	112.0

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 250百万円 (24.0%) 2018年6月期第2四半期 329百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	235.22	
2018年6月期第2四半期	250.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第2四半期	8,764	7,020	80.0	5,298.76
2018年6月期	8,578	6,820	79.4	5,147.50

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 7,015百万円 2018年6月期 6,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		19.00		19.00	38.00
2019年6月期		19.00			
2019年6月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,641	3.3	542	6.9	741	5.1	525	9.9	396.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期2Q	1,355,000 株	2018年6月期	1,355,000 株
期末自己株式数	2019年6月期2Q	30,967 株	2018年6月期	30,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期2Q	1,324,033 株	2018年6月期2Q	1,324,034 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年7月1日～2018年12月31日)における世界経済は、米国では個人消費は堅調に推移、生産活動も保護主義的通商政策による下押し懸念を持ちながらも底堅い景気を維持しました。また欧州でも低成長ペースながら回復基調を維持しました。アジア経済を見ますと、中国では経済成長鈍化が顕著となり成長ペースはほぼ横這い、またアジア新興国経済も小幅な回復に止まりました。

日本経済は、企業部門では夏場の相次ぐ自然災害からの挽回生産もあり、生産活動が緩やかに増加しました。また、家計部門の個人消費は雇用・所得環境の改善が続くも実質所得の伸び悩みが続いております。景気の基調は「緩やかに回復している」期間となりました。

この間の当社グループを取り巻く事業環境は、製造業界では世界経済の堅調推移を背景に良好な業況が続くなか、自然災害による生産活動の一時的停滞を被る期間ともなりました。当社グループの主要販売先である自動車機器業界からの受託量は微増、光学機器業界で増収、電気・電子部品業界は減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績につきましては、売上高は2,696百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益は211百万円(前年同期比34.9%減)、経常利益は352百万円(前年同期比21.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は311百万円(前年同期比6.3%減)となりました。営業利益につきましては、当該期間の製品売上構成比率が変動したことなどを一因として前年同期比減益、そして経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、この期間の為替差益13百万円(前年同期比70.4%減)及び持分法による投資利益108百万円(前年同期比46.8%増)などを計上加算しております。

当第2四半期連結累計期間における営業概況は、次の通りです。

当社グループの主要販売先である自動車機器業界向けが前年同期比2.0%とわずかに増収。光学機器業界向けは、前年同期比18.6%の増収。電気・電子機器業界向けは、前年同期比37.3%の減収となりました。この結果、ドライループ事業の売上高は2,696百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ186百万円増加し、8,764百万円(前期末比2.2%増)となりました。これは主に、現金及び預金593百万円の増加、関係会社出資金282百万円の減少、受取手形及び売掛金79百万円の減少等によるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、1,744百万円(前期末比0.8%減)となりました。これは主に、長期借入金125百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金200百万円の減少等によるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ200百万円増加し、7,020百万円(前期末比2.9%増)となりました。これは主に、利益剰余金261百万円の増加、為替換算調整勘定53百万円の減少等によるものです。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は80.0%(前連結会計年度末は79.4%)となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ593百万円増加し、3,881百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主たる増減要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、388百万円（前年同期における営業活動により得られた資金は322百万円）となりました。これは主に、資金流入では税金等調整前四半期純利益352百万円、減価償却費105百万円、売上債権の減少額79百万円、資金流出では持分法による投資利益108百万円、為替差益13百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により得られた資金は、307百万円（前年同期における投資活動により使用した資金は100百万円）となりました。これは主に、資金流入では出資金の回収による収入329百万円、資金流出では有形固定資産の取得による支出24百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は、100百万円（前年同期における財務活動により使用した資金は106百万円）となりました。これは主に、資金流入では長期借入れによる収入150百万円、資金流出では長期借入金の返済による支出224百万円、配当金の支払額25百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当面の日本経済は海外経済の回復基調を背景に、企業の生産活動は底堅さを維持しております。その一方で個人消費については、回復基調ながら賃金の伸び悩みは解消されておらず、緩やかな持ち直しに止まっております。総じて見れば、景気回復軌道は外れない見通しとされておりますが、一方で原材料費・人件費の増嵩で企業収益増加率は鈍化するとも予測されており、併せて米中貿易摩擦や海外経済減速兆候、並びに地政学的懸念が国内外の先行きを不透明にしております。

当社の第3四半期会計期間以降についても楽観できない不透明な業況が予測されます。2018年8月10日に公表いたしました2019年6月期の通期業績予想の変更はいたしておりませんが、今後適時開示が必要となった場合には、速やかにお伝えいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,663,794	4,257,312
受取手形及び売掛金	965,768	886,528
商品及び製品	51,346	54,042
仕掛品	21,653	23,522
原材料及び貯蔵品	112,674	118,854
その他	21,311	33,888
貸倒引当金	△759	△740
流動資産合計	4,835,790	5,373,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,092,241	2,123,049
減価償却累計額	△1,318,855	△1,357,059
建物及び構築物 (純額)	773,386	765,989
機械装置及び運搬具	2,026,697	2,041,942
減価償却累計額	△1,631,776	△1,678,696
機械装置及び運搬具 (純額)	394,920	363,245
工具、器具及び備品	228,052	233,326
減価償却累計額	△189,081	△197,475
工具、器具及び備品 (純額)	38,970	35,850
土地	1,166,777	1,171,323
建設仮勘定	20,268	22,172
有形固定資産合計	2,394,324	2,358,582
無形固定資産		
投資その他の資産	37,381	31,467
投資有価証券	46,000	35,181
関係会社出資金	1,104,732	822,503
繰延税金資産	33,228	21,689
その他	126,919	122,162
投資その他の資産合計	1,310,880	1,001,536
固定資産合計	3,742,586	3,391,586
資産合計	8,578,376	8,764,996

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	446,527	441,781
1年内返済予定の長期借入金	549,880	349,840
未払金	33,422	32,205
未払費用	48,447	50,545
未払法人税等	49,551	65,276
賞与引当金	18,112	24,828
その他	43,535	74,244
流動負債合計	1,189,476	1,038,722
固定負債		
長期借入金	293,600	418,700
退職給付に係る負債	147,259	147,530
長期未払金	127,482	126,674
その他	—	12,706
固定負債合計	568,342	705,612
負債合計	1,757,818	1,744,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	375,956	375,956
資本剰余金	454,760	454,760
利益剰余金	5,771,890	6,033,014
自己株式	△11,564	△11,567
株主資本合計	6,591,042	6,852,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,869	12,278
為替換算調整勘定	204,547	151,287
その他の包括利益累計額合計	224,416	163,566
非支配株主持分	5,098	4,931
純資産合計	6,820,558	7,020,661
負債純資産合計	8,578,376	8,764,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	2,748,186	2,696,601
売上原価	1,981,914	2,034,353
売上総利益	766,272	662,248
販売費及び一般管理費	440,748	450,385
営業利益	325,524	211,862
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,430	3,211
為替差益	44,792	13,246
持分法による投資利益	73,754	108,249
その他	4,268	18,019
営業外収益合計	124,246	142,727
営業外費用		
支払利息	2,410	1,586
その他	283	26
営業外費用合計	2,693	1,613
経常利益	447,076	352,976
特別損失		
固定資産除却損	759	487
特別損失合計	759	487
税金等調整前四半期純利益	446,317	352,488
法人税、住民税及び事業税	115,782	66,215
法人税等還付税額	—	△39,763
法人税等調整額	△1,515	14,888
法人税等合計	114,267	41,340
四半期純利益	332,050	311,148
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△152	△289
親会社株主に帰属する四半期純利益	332,202	311,437

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	332,050	311,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	483	△7,590
為替換算調整勘定	12,696	14,163
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,720	△67,301
その他の包括利益合計	△2,540	△60,728
四半期包括利益	329,509	250,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,628	250,587
非支配株主に係る四半期包括利益	△119	△167

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	446,317	352,488
減価償却費	111,216	105,674
持分法による投資損益 (△は益)	△73,754	△108,249
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,010	6,471
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,920	271
受取利息及び受取配当金	△1,431	△3,212
支払利息	2,410	1,586
為替差損益 (△は益)	△45,337	△13,931
固定資産除売却損益 (△は益)	756	487
売上債権の増減額 (△は増加)	△74,600	79,114
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,879	△9,791
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	121	△12,805
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,742	△6,179
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,277	2,328
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	13,253	4,156
その他	△4,382	107
小計	416,635	398,513
利息及び配当金の受取額	51,597	3,211
利息の支払額	△2,448	△1,617
法人税等の支払額	△143,619	△51,243
法人税等の還付額	—	39,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	322,164	388,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△363,000	△366,000
定期預金の払戻による収入	363,000	366,000
有形固定資産の取得による支出	△98,085	△24,584
有形固定資産の除却による支出	△109	—
無形固定資産の取得による支出	△1,329	△140
出資金の回収による収入	—	329,640
その他	△915	2,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,439	307,126
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△58,570	—
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△24,940	△224,940
配当金の支払額	△22,508	△25,156
自己株式の取得による支出	—	△2
その他	—	△775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,018	△100,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,642	△1,361
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	144,348	593,517
現金及び現金同等物の期首残高	3,037,066	3,287,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,181,415	3,881,209

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。